令和５年度　自己評価・学校関係者評価書

令和６年３月８日

認定こども園中央幼稚園

１　幼稚園の教育目標

正しく（良い事、悪い事の判断を身につけよう。悪いと思う事をしない勇気を持とう。） 強く　　（心身ともにたくましくなろう。） 仲良く（親、兄弟、友だちを思いやり、感謝し、仲良く生活しよう。）

２　本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

バスでの事故や不適切保育が問題視されている社会状況を踏まえ、園児が安心・安全な園生活が送れるよう職員間での情報共有や意思疎通を重点課題とし、保育に取り組んでいく。

３　評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理　　由	関係者評価
① 保育の計画性	3.70	保育は計画的に行われ、適切に見直しや園児の実態に合わせた修正が行われている。今後も順応性のある計画を立て子どもに合った保育を進めて頂きたい。	3.75
②保育のあり方 幼児への対応	3.81	引き続き不適切保育やバスでの事故等社会問題を踏まえて教職員間で話し合い、保育を見直す機会を設ける事が出来ていた。	3.8
③教師として資質 能力、適正等	3.83	園内外はきちんと清掃や整理整頓され、子どもたちが過ごしやすい環境作りがされている。引き続き子どもや教育に関する情報をとらえるよう努めて頂きたい。	3.7
④保護者への対応	3.77	保護者からの相談に応じたり、要望にも迅速・適切に対応出来ている。引き続き安心・安全な保育を心掛けて頂きたい。	3.8
⑤地域の自然や地 域との関わり	3.15	近隣小学校との関わり、未就園児向けのイベントの回数も増えている。引き続き状況に応じて関わりを増やして頂きたい。	3.3
⑥研修と研究	3.32	職員が各自リモートでの研修参加し、専門的な知識や新たな情報を取り入れるよう努めて頂きたい。	3.2

4　本年度の重点課題の総合的な評価結果

１．幼保連携型認定こども園に移行し７年目で運営は安定して行われている。今年度は久しぶりに行動制限のない年となり、行事も保護者参加で予定通り行う事が出来ていた。昨今のバスでの事故や問題視されている不適切保育については今まで当たり前に思っていた事を職員間で見直す良い機会となった。人数点呼や出席確認、園児の所在の把握等今まで以上に正確かつ迅速に行いより安全・安心な保育を心掛けていきたい。

5　今後取り組むべき課題

課　題	具体的な取り組み方法
保育者としての姿勢（安心・安全な保育の徹底）	引き続き社会情勢を絶えず捉えながら自らの保育を振り返り、子ども達の安心・安全を第一に考えた保育の取り組みをしていく。保護者にも安心して預けて頂けるよう職員間の情報伝達の徹底、園内研修等に力を入れ、今まで当たり前に思っていた保育が不適切に当たらないか、現状に合っているのか振り返る機会を増やしていく。

6　学校関係者評価委員会からのコメント

認定こども園７年目となり運営や保護者への対応は安定し問題ないと感じられました。今年度は新型コロナウイルスが５類に引き下げられ、保護者参加の行事が予定通り行えるようになり、行事にも活気が戻ってきたように感じられます。まだ、保護者の参加人数の制限等はありますが今後は安心・安全を確保した上でのコロナ以前のような人数制限なしの行事参加になる事を望みます。 バスに関しては他園での事故を踏まえ、点検や管理の仕方を見直し、徹底されている為、継続して頂きたいと思います。 不適切保育については職員間の認識不足や危機管理の甘さがまだ感じられる部分がありました。今後当たり前に思っていた部分を見直し、より安心・安全な保育を心掛けて頂きたいと思います。 今後も「子どもたちの未来のために」を合言葉に充実した保育の提供を宜しくお願いします。